

茨城県の実地医療における高血圧管理状況および高血圧患者の予後に関する研究について

筑波大学循環器内科では、実地医療として循環器疾患をもつ患者さんの診断や治療を最新の研究成果や医療技術を取り入れながら行っています。しかしながら、医療水準を維持し、さらに高めていくためには、前向きに臨床データを集めて解析したり、後ろ向きにこれまでの診療データを集めて解析したりすることにより、疾患の特徴やさまざまな治療法の有効性や課題を明らかにしていく「臨床研究」が不可欠です。現在そのような臨床研究の一つとして、「茨城県の実地医療における高血圧管理状況および高血圧患者の予後に関する研究」を実施しております。内容につきましては、下記をご覧ください。また、この調査研究について御質問等ございましたら、最後に記載しております問い合わせ窓口までご連絡ください。

【研究の意義・目的・方法】

高血圧は、脳卒中や心筋梗塞など致命的な心血管イベントの主要な危険因子として知られています。しかしながら、わが国の実地医療における高血圧患者さんの血圧管理状況の実態についての報告は少なく、未だ十分に明らかになっておりません。この研究では、高血圧患者さんの血圧管理状況と心血管イベントの発症状況について明らかにすることを目的として、茨城県内の医療機関にアンケート調査を行うものです。

【研究機関名・研究者名】

筑波大学附属病院 循環器内科

青沼和隆，佐藤明，村越伸行，星智也，木村泰三，町野毅

【保有する個人情報に関する利用目的】

この研究は、茨城県内における高血圧患者さんを対象に、診療記録を用いて、血圧の管理状況及び経過を調査するものです。

【対象期間等】

2008 年 10 月～2009 年 3 月までに茨城県内の医療機関を受診された高血圧の患者様を対象としております。

【調査項目】

年齢，性別，身長，体重，外来血圧および家庭血圧の管理状況，服薬状況，心血管イベント(脳卒中，虚血性心疾患，心不全等)の発症状況およびその他の合併疾患(不整脈，慢性腎臓病，糖尿病，脂質異常症等)について調査を行います。

【保有する個人情報保護の方法】

本研究では、対象患者さんの個人情報を保護するため、本研究に携わる研究者は割り当てられた登録番号で臨床データを識別します。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために学会や論文で公表されることがありますが、その場合も個人情報の秘密は厳重に守られ、第三者には個人の特定ができないように配慮されます。

【研究終了後の個人情報の取り扱いについて】

最終解析終了後にすべてのデータは廃棄されます。

【保有する個人情報の開示手続】

あなたのデータが本研究に用いられているかどうかを知りたい場合は、いつでも下記問い合わせ窓口までご連絡ください。

【データ使用の取り止めについて】

あなたがデータ使用の取り止めに希望される場合には、いつでも下記問い合わせ窓口までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、あなたのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合があります。

【保有する個人情報の問い合わせ窓口】

担当医師： 筑波大学附属病院 循環器内科

教授 青沼和隆

准教授 佐藤明

講師 村越伸行

講師 星智也

講師 木村泰三

クリニカルアシスタント 町野毅

住所：305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1

電話：029-853-3143（循環器内科秘書，平日 9 時～17 時），029-853-3525（筑波大学附属病院防災センター，上記以外の時間帯，担当医師または循環器内科医師を呼び出して下さい）